

卓球男子団体戦 スポ日高



全道 3位

1998年以来

23年振りの快挙



大空高校相手に1-3で敗北、個人戦は初戦敗退

あと1勝、惜しくも全国には届かず...

実は初戦敗退だけど
運が味方し3位に

6月19日(土)・20日(日)の二日間、滝川市スポーツセンターにて北海道高等学校定時制通信制卓球大会が行われた。日高高校卓球部は団体戦で1998年以来、23年ぶりの三位に入賞した。なお、個人戦は全員が初戦敗退となった。

初日に行われた団体戦。戦前の監督会議での抽選の結果、監督の強運によって「勝すれば全国」の山に入ることができた。初戦の相手は大空高校。第一シングルの部長・吉田(三年)は3-0でストレート勝ち。第二シングルの大坪(一年)は強敵相手に善戦するも、1-3で敗れた。

ダブルスは、初心者コンビながら短期間で上達した今村(二年)・下條(一年)のペア。随所に好プレーが見られたものの、大空高校のダブルエースを前に0-3で敗北。最後の望みを癸生川(三年)に託したが、0-3で敗退し、試合終了。第四シングルの石川が1-1と接戦を繰り広げていただけに、悔しい敗戦となった。全国の壁は高かったが、組み合わせの関係で順位は3位。見出し詐欺じゃないかと言われそうだが、運も実力のうちということはおきたい。

二日目は個人戦。石川、癸生川、今村の三名は一回戦から出場。石川は留寿都高校の選手相手に1セットを取ったが、1-3で敗北。今村と癸生川は格上相手に粘ったが、いずれも0-3で初戦敗退となった。

シードで二回戦からの登場となった吉田は、勝てばベスト8全国出場という一戦になった。しかし相手の変則的なスタイルに苦しめられ、吉田本来の強い打球で攻める形を出すことが出来ない。結果は0-3に終わり、全国大会出場はならなかった。

悔しい結果となったが、昨年度の大会中止のことを考えると、三年生は最後に試合をして部活を終えることが出来て良かったと思う。一・二年生は来年、念願の「全道一勝」を目指してほしい。(文責・小高)